

# 議会 だより

つなぎ

September  
9

6月第2回定例会 平成28年度補正予算などを審議

☆平成28年度一般会計 8,600万円の追加 P 2・3

☆一般質問 5人の議員が登壇 P 4~8

平成28年第1回臨時会を開催

☆役場空調機修繕工事などに伴う追加補正予算を可決 P 9

歳時記ショット・議会のうごき



つなぎ 議会だより

2016. 9

発行：熊本県津奈木町議会  
編集：議会広報委員会

〒869-5692 熊本県葦北郡津奈木町小津奈木2123  
☎0966-78-5351  
印刷：旭印刷株式会社

## 歳時記 ショット

### 競舟大会

盆の伝統行事である競舟大会には、小・中学生チームも参加し、大会を盛り上げてくれました。



#### 【8月】

- 1日 正副議長研修会
- 17日 教育住民常任委員会
- 18日 総務振興常任委員会
- 芦北郡議長会議員研修会
- 23日 各委員長研修会

#### 【9月予定】

- 6日 議会運営委員会
- 13日~29日 第3回議会定例会
- 16日 敬老会
- 30日 戦没者追悼式

#### 議会を傍聴してみませんか

議会は、3月、6月、9月、12月の定例会が開催されます。9月定例会は、13日からの予定です。

■問い合わせ/議会事務局 0966-78-5351

### 人権擁護委員 に推薦

本町には、3人の人権擁護委員がいます。人権擁護委員法に基づいて人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間のボランティアです。うち2人が9月30日をもって1期3年の任期満了を迎えます。町長から再度候補者として推薦があり、議会も同意しました。山本和美氏は2期目、澤井静代氏は4期目となります。大変ですがよろしくお願ひします。



澤井静代 委員 山本和美 委員

### 編集後記

「雨が降らない」「暑い」夏であった。特に第一次産業の方々は大変な夏であったとお見舞い申し上げます。「あつい」と言えば、オリンピック、高校野球の選手たちの活躍に感動した。盆野球・競舟大会も盛り上がり、競舟大会は大変見応えのある決勝戦だった。議会は町の意思を決定する機関である。選手の気概と絶え間ない努力を見習い、将来の津奈木町の金メダルのため、議会も邁進したい。

S・M

#### ―表紙の写真―

津南保育園、ひまわり組の子供たち。熱い、夏もエアコンの効いた部屋で元気いっぱいでした。

#### 議会広報委員

- 委員長 本山 真吾
- 副委員長 川野 雄一
- 委員 久村 昌司
- 澤井 静代
- 上村 勝法

# 平成28年 第2回定例会 補正予算 条例改正 人事案件を審議

平成28年第2回定例会が、6月15日から17日までの3日間開催され、開会に先だち熊本震災で犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、黙祷をささげました。  
本定例会では、平成28年度補正予算を主に、条例の制定および改正などが上程されました。

## 定例会初日の審議状況

### 第一次の加速化交付金は不採択

#### 主な質疑概要

**平成27年度**  
一般会計補正予算(第7号)の専決承認

柳迫好則議員

**問** 乗り合いタクシー用ワゴン車購入費510万円の減額理由は。

**答** 乗り合いタクシーをもう1台購入予定であったが、「むつみ交通」が、2台までしか運輸局の登録ができなかったため、先行型の予算に回す形になる。

**問** 歳入に地方交付税1億8021万円が計上されているが、例年より多く交付されている理由は。

川野雄一議員

**問** 加速化交付金6670万円の減額理由は。

**答** 企画費・地域振興費および美術館費のICTとアートによる住みた

くなるまちづくりプロジェクトが、不採択となったためである。今回加速化交付金に採択されたほとんどが、しごと創生が主題で、人口増加につながる戦略を立てる事業を優先して国は採用している。

川野雄一議員

**問** 財産管理費の工事請負費に347万円の

**答** 庁舎建設から33年を経過し、特殊なシステムのため、修理用の部品は製造されていない。庁舎全体をLED化する

ことで、電気料金が節約でき、維持管理なども考慮して予算計上した。工事は本年度に1階を、来年度2階を実施する予定である。

本山真吾議員

**問** 小さくて強い産業づくりプロジェクト負担金と起業・業務拡大事業補助金の説明を求める。

**答** 第一次産業の活性化を図るため、強い産業づくりのプロジェクト会議を設置予定しており、事務局費及び視察研修費などの費用である。

村上義廣議員

**問** 町道合申福浦線の測量設計委託料が上がっているが2回目ではないのか。

**答** 現地はのり面が不安定なことから、今回はのり面工事の詳細設計委託料である。

久村昌司議員

**問** プール監視業務委託料100万円の減額理由は。

**答** 当初、シルバー人材センターへ委託する予定であったが、有償委託

介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

橋口知恵子議員

**問** 認知症総合支援事業の進捗状況と、見守りネットワーク事業の対象者はいるのか。

**答** 認知症初期集中支援チーム員が3人おり、本年度から検討委員会で検討を行っている状況である。また、安心・見守りネットワーク事業への申請はまだあがっていない。

澤井静代議員

**問** 一次予防事業費で地域介護予防活動支援事業委託料183万円の減額理由は。

**答** 転倒骨折予防事業を、昨年度までは社会福祉協議会に委託していたが、本年度から町が事業を行うため、委託料を減額した。

## 平成28年度補正予算の主な事業

事業名	予算額	事業内容
庁舎照明器具更新工事	3,465千円	役場庁舎1階の照明器具をLED化
一般コミュニティ助成事業補助金	2,200千円	小津奈木地区の一般コミュニティ助成事業補助金
西野達プロジェクト委託料	19,022千円	アーティスト 西野達氏による期間限定で開設するホテルプロジェクト事業の委託料
美術館モノレール修繕工事	12,405千円	美術館モノレールの磨耗によるレール交換
小さくて強い産業づくりプロジェクト負担金	20,256千円	農産物の生産量の減少を逆手に取って「小さくて強い産業づくり」を確立する。地域資源ごとに推進会議を立ち上げ、高品質なものづくりを基本としたビジネスを同時多発的に生み出す。
起業・業務拡大事業補助金	15,000千円	
町道合申福浦線法面対策測量設計業務委託料	1,955千円	合申地区の土砂崩壊箇所法面対策の測量委託
総合グラウンド駐車場舗装補修工事	1,117千円	B & G 体育館玄関前の舗装工事



橋口知恵子 議員

## 指定避難所の耐震と生活環境は万全か

**指定避難所の耐震対策と環境整備は**

**問** 指定緊急避難所7箇所の耐震補強工事は済んでいるのか。また、熊本震災の現状や日奈久断層の危険性から今の耐震強度では、半壊や全壊の危険性がある。耐震の強化を図るべきではないか。

**答** 昭和56年6月に、耐震基準の見直しが行われ、震度6から7の規模の地震に対する新耐震基準で6箇所は耐震補強済みで、平国コミュニティセンターは、新しい交流センターにかわる予定である。今後は、国の建築基準法の改正動向を見ながら対応していく。

**問** 「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」で、指定避難所は生活環境などの改善を可能な限り図

**答** 熊本地震では、高齢者・障がい者などを受け入れる福祉避難所の重要性が指摘されている。町でも福祉避難所の開設が必要ではないか。

**問** 熊本地震では、高齢者・障がい者などを受け入れる福祉避難所の重要性が指摘されている。町でも福祉避難所の開設が必要ではないか。

**答** 当初見込みは1日30人程度、5月は1日

**つなぎタクシーの運行改善の考えは**

**問** 利用状況は、当初の利用見込みと比較してどうか。「つなぎタクシー」に関するアンケート調査で、要望・意見が多かったもの、その要望の解決策はあるのか。



運行中の「つなぎタクシー」

り、町では毎年ひとり暮らしなど要援護者の実態調査を行っている。つなぎ文化センターは、避難行動要支援者対応避難所、あけぼの苑とつなぎの里は、災害時における要援護者の福祉避難施設となっている。津奈木町災害時要援護者避難支援計画の見直しと要援護者の個別の支援計画の作成をしている。

**答** 町としては、家屋の解体など、片付けの手伝いぐらいはできるかもしれないが、私有物に公金を出して行うのは法律的にも難しいため、個人の資産形成には税金は使えない。リフォームについては、経済対策として町内業者を利用した場合などにおいて、費用を出すケースがあり何らかの理由づけが必要だ。被災者の方をリフォームした家に優先的に入居させるのは、希望があれば町としても流入人口、定住人口につながるのので極力応援していきたい。さらに新幹線の駅、津奈木インターと利便性もよくなり、福祉関係あるいは病院もそろっており、年金暮らしの方には非常に都合よく、さくら分譲地もあわせてPRしていきたいと思う。



上村勝法 議員

## 本町の空き家対策の現状は

**町内の空き家に対する取り組みは**

**問** 平成28年度から平成32年度までの津奈木町過疎地域自立促進計画が3月に策定され、その中で過疎地域自立促進特別事業として、「空き家活用助成事業」として800万円が計画されており、本年度の当初予算にも空き家リフォーム事業補助金400万円が計上されている。

**答** 平成27年度空き家調査をした結果158棟あった。このうち居住対象となる空き家の所有者を特定し、6月3日に状況調査アンケートを107通発

**問** 過疎地域自立促進計画の中で特定空き家対策事業とあるが、空き家などの分析、整備及び管理を行い、危険家屋対策と

**答** 半数以上の施設は調理などができ、固い床には、マットを備え、体育館などにはテレビの配線もある。一定期間経過後の食事などの提供は、県や国に依頼せざる得ない現状である。今備蓄している食料のほかに、栄養のバランスのとれた保存食・衣料品・おむつ・生理用品などの備蓄を計画している。

**問** 過疎地域自立促進計画の中で特定空き家対策事業とあるが、空き家などの分析、整備及び管理を行い、危険家屋対策と

空き家の利活用

して地域住民の生命、身体、財産の保護、生活環境の保全を行うためのデータベースを活用した空き家など対策を実施すると説明しているが、倒壊のおそれのある家など、危険家屋に対して、解体補助金はあるのか。

また、熊本地震で全壊、半壊された被災者によりフォームした空き家に入居してもらおう考えはないのか。



## 閉局した赤崎水曜日郵便局 つながった縁に新たな情報発信

澤井静代 議員

閉局した赤崎水曜郵便局結果と現状は

**問** 平成28年3月末をもって閉局となった赤崎水曜日郵便局は、閉局前は数多くのメディアに取り上げられ、大きな反響があった。閉局して2か月余りが過ぎたが、結果と現在の状況を伺いたい。

**答** 赤崎水曜日郵便局は、平成25年6月の閉局で、2年9か月で9200通の手紙が届いた。そのうち閉局間に届いた手紙が、約3千通だった。5月末で約7300通の手紙の転送を終えているが、まだ1900通の手紙が転送待ちの状態である。転送作業は、内容の確認、転送相手のマッチングなど手間のかかる作業である。閉局して2か月が経過しているが、8月中の転送終了を目標に取り組んでいる。

**問** 今回のプロジェクトでつながった縁を大切に、津奈木町応援団の広がりにつなげてほしいと思っているがいかがか。

**答** 今まで応援していた方々には、つなぎ美術館の新たな事業の情報発信などを行っていきたいと考えている。また、赤崎小学校跡地を訪ねられた人に心地よく過ごしてもらうために、整備計画を進めている。



活躍したポスト

### 空き家対策 早い対応を

**問** 空き家対策について、住まい探しは待たなすで発生するの

ことである。今後の組織強化策は、活動をほとんどしていない地区や停滞している地区については、町から積極的なフォローを行っていききたい。

**問** 課題として、町内22地区で自主防災組織活動に対して温度差があり、区長交代時期に事務引き継ぎなどがなされていない地区もあるというところで、町において、自主防災組織活動マニュアル、規約、防災計画などをファイルにして22地区に配布し、組織の活動を支援する考えはないのか。

**答** 自主防災条例、指導マニュアル、防災計画、ハザードマップ、避難誘導者名簿などを備えた自主防災専用のファイルを用意し、7月の区長会で配布して組織の活動を支援していきたく考えている。

で、早い動きでの取り組みを願っているが、即入居可能な空き家の棟数や、現在借家として提供されている棟数を把握しているのか。

**答** 昨年調査済みの158棟中107棟が住居として使用可能だと判断し、6月3日アンケートを出している。この中で空き家バンクの登録希望者があれば、なるべく早く貸し出しをしたいと思っている。借家については、把握していない。

### 住民にわかりやすい 行政運営を

**問** グループ制導入から10年が経過し、行政の状況としても適正な事務事業の検討を行い、より効果的な行政運営ができるよう進める必要があると記されている。そうであるなら振興課については、地域振興のため

### 水俣・津奈木シルバー 人材センター設立の経緯は

**問** 設立は町単独ではなく、水俣市との協同経営を選択された理由を伺いたい。

**答** 町単独で設立しない理由は、初期投資費用や人件費がかかり、仕事量も少なく経営が赤字になると予想されたので、水俣市との協同経営を選択した。メリットは、仕事量に対して2分の1の補助金がある。

### 町民のシルバー人材 センターへの登録者と 雇用状況を伺いたい。

**答** 4月1日に発足して、登録者は6月現在6人で、雇用は6月現在6人でない。町では会員、業務の開拓推進を図るため、町報や有線放送で募集案内を

の課であるので、住民に分かりやすい班編成ができないのか。

**答** 昭和の大合併、平成の大合併で、3200の自治体が1800を割っている。津奈木町は独自で頑張る決断をしたが、今になってみればよかつたと思う。例えば危機管理の問題で、小さな自治体ほど危機管理対応は濃密にできる。また、高齢者が多い町だけに「わかっている者が守る」という思いも、合併しない理由の一つであった。人件費削減で、少ない職員数でたくさん仕事ができる方法としてグループ制を導入しているが、行政の中では流動的に考える編成である。仕事内容を揚げたりの工夫をして、皆さんにわかるように努めたいと思う。

### 地方創生加速化交付金 事業の採択は

行ったり、就業開拓嘱託員1人を採用している。

**問** 平成27年度3月補正された地方創生加速化交付金事業の採択状況と、不採択事業の対応を伺いたい。

**答** 地方創生加速化交付金事業総申請額6993万5千円のうち、採択事業は観光連携事業23万5千円、シルバー人材センター事業300万円で、不採択事業はICTとアートによる住みよくなる町づくり事業6670万円である。光ブロードバンド行政情報発信事業、西野達プロジェクトなどの不採択事業は6月補正に計上して一般財源で実施する。

## 各地区の自主防災組織 活動の取り組みは

川野雄一 議員



### 自主防災組織の 現状と課題

**問** 町は自主防災組織の必要性を考えて、研修会などを実施して機能強化を図ってきたが、組織の現状と課題、今後の組織強化策を伺いたい。

**答** 町内の自主防災組織は、平成17年4月に発足している。町全体を一つの自主防災組織として考え、各地区を支部と位置づけており、支部長に各区長を置き、副支部長、班長を組織して活動を開始している。区長会で研修会を開催し、地域では図上訓練、講習会などを行っている所もある。組織の現状は規約の整備済み11地区、名簿の整備済み15地区、連絡網整備済16地区となっている。課題は、各地区によって組織の取り組みに温度差があり、区長交代時期に引き継ぎがうまくいっていない



# 第一次産業振興はどのように考えているのか

本山 真吾 議員

**電気柵の補助は実施できないか**

**問** 水保市・芦北町は鳥獣被害対策として、電気柵設置費用を補助しているが、本町において同様に補助金を設ける予定はないのか。



**答** 水保市は、上限3万円、2分の1以内の市単独補助と、鹿については今年度より上限5万円、2分の1補助を行っており、平成27年度は総額150万円の補助を行っている。芦北町は上限5万円

の補助で、平成27年度は総額325万円の単独補助を行っている。

本町においても被害軽減につながる対策として、要望調査や事業効果を検証のうえ、事業実施について検討したいと考えている。

## 町の農林水産業振興施策を問う

**問** まち・ひと・しごと総合戦略において第一次産業振興を具体的にどのように考えているのか。

**答** 統計では、2010年農業センサスで、農業従事者337人、林業従事者70人、2015年で農業従事者265人、林業従事者41人となっている。漁業センサスでは2008年121人、2013年99人となっている。合計すると528人の従業者数が、5年後最新では405人で123人程度減となっております。

り23%減っている。大変厳しい現状ではあるが、新規認定農業者を5年間で5人確保する計画をしている。

後継者確保については、Uターン、Iターン、Jターンなど、町外からの受け入れと地元の若い農家育成の両方を検討する。国・県・町の各種事業を活用して農地の流動化・集約化を図り、規模拡大を図りたい。流通と所得向上のために、加工食品などの開発にも取り組み、六次産業化の実現に向けた取り組みを行いたい。

な養殖業の推進に取り組みたい。

**問** 人口減少を止めるため、合計特殊出生率を高めるよう施策の前倒しはできないのか。

**答** 平成27年度の本町の出生者数は26人であった。合計特殊出生率は2.03人にするには、単年度で51人の出生者数が必要である。少子化対策の例として、他の市町村では結婚相談支援やお祝い金の贈呈、不妊治療の補助、幼保一元化、保育料無償化、学校施設の充実、奨学金返済の減免、奨学金の給付型など、施策を行っているところもあるが、本町では、振興計画に従い、県や国の施策動向を見ながら検討をしていくことになろうかと思われる。

## 7月臨時会

### 主な質疑概要

一般会計補正予算(第3号)

**問** 観光費に計上されている、温泉センター浴場補修工事費203万円の工事内容は、

**答** 主な工事内容は、浴場の補修、洗い場の排水改修、展望露天風呂の建物補修、浴場地下室の仮補修などを行う。

なお、工事に伴い1ヶ月程度の休館が必要である。

**問** 財産管理費の工事請負費で、役場の空調機修繕工事とあるが、工期はいつまでなのか。また、その間の役場来客者への対応と職員の過ごし方はどう

考えているのか。

**答** 早急に改修など行っても8月末になる予定で、職員に対しては、質素なTシャツ、ポロシャツなどで勤務可能とし、スーパークールビズの発令を行っている。窓口に来庁されるお客様の対応については、早急に検討したいと思っている。

津奈木町平国コミュニティセンター条例制定

**問** 津奈木町平国コミュニティセンター業務委託経費の負担などについては、関係者と協議しているのか。

**答** 使用規則に基づいて、地元の方と協議をしている。

# 平成28年第1回臨時会開催

## 一般会計補正予算(2,350万円の追加) 津奈木町平国コミュニティセンター条例の制定

第1回臨時会が7月11日に開催され、役場空調機の故障に伴う、空調機修繕工事費1,508万3千円、6月の集中豪雨による災害復旧費など、総額2,350万円の追加補正が上程され、原案可決されました。

また、環境省の補助事業で平国地区に新築される施設が9月から供用開始となることから「津奈木町平国コミュニティセンター」と命名し、施設の管理などに関する条例が制定されました。



効率的な運営が定例のルールで6月7日(土)に開催。冷房およびクーラー(上着・ネクタイなし)が不要。



津奈木町平国コミュニティセンターの管理については、平国地区に委託され、たっしゅか塾もこの施設で行われます。